

令和8年度 山口県看護協会通常総会の開催にあたって

公益社団法人山口県看護協会

会 長 原田 美佐

平素より、山口県看護協会会員の皆様には、山口県内の各地域・各施設等で看護活動にご尽力いただき、さらに本協会の活動に対して多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに対し、心から感謝を申し上げます。

昨年日本看護協会は、次なる照準となる2040年までに想定される社会、医療の変容を踏まえて、その変化に対して看護が進むべき方向性、そのために何をすべきかについてまとめ、「看護の将来ビジョン2040～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」を公表しました。その冒頭には、「その未到の変化は、看護職が人々の最も身近にいる医療専門職として、その力を最大限に発揮し、活躍の幅を広げる契機ともなる」とあり、確実に働き手が減っている厳しい状況の中で、変化の行く先は見えず不安ではあるけれど、看護職一人ひとりが「看護の力」を身に付けて様々な場において発揮することで、看護を発展させていくチャンスにもなると謳っています。とてもポジティブなメッセージに、勇気が湧いてくるなと感じます。

こうした中、昨年度末に本協会の理念を、会員の皆様や職員、県民の皆様が、本協会の存在意義や価値を共有でき、またそれがストレートに届くメッセージ性のあるものにしたいと思い、刷新しました。理事会で協議した結果、新しい理念は、

「看護の力で山口県民が健やかに暮らせる社会の実現」

と決まりました。キーワードは、『看護の力で』です。これは理事の皆様が最後までこだわって追加された言葉で、「私たちが山口県をより良くしていくぞ」「これからもっと看護の力を身に付けてがんばろう」という力強さと意気込み、そして使命感が感じられ、とても誇らしい気持ちになりました。

今年度本協会は、会員の皆様と共に新しい理念及び令和8年度重点方針に沿って事業を進めていき、住民のニーズや社会からの期待に一層応えられるよう尽力してまいります。あわせて、会員の皆様が健康で安全に充実感を持って働ける、看護職自身のウェルビーイングも重視してまいりたいと思います。引き続き、皆様方の本協会へのご支援・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。